

令和5年度 福井市啓蒙小学校スクールプラン

福井市学校教育目標

郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子供の育成

福井市学校教育方針

学びをつなぐ・未来につなげる

<学校教育目標>

—自ら可能性を拓き 心豊かにたくましく生きる子の育成—

【3つの視点】

考える

つながる

つづける

校訓 「明朗 不屈 真実」 社会の要請・保護者・地域の願い

- ・生涯学習につながる生きる力を伸ばす教育の充実
- ・地域に愛着をもち、所属意識に根ざす集団生活を営む力の育成

こんな子供を

- 素直で明るい。
- 物事にまじめに取り組む。
- △相手の考えをじっくり聞く姿勢が十分ではない。
- △学習に対して、受け身的な姿勢が見られる。

こんな取組を通して

- ・「教師が変われば子供は変わる」の姿勢のもと、互いに切磋琢磨して授業改善に取り組み、自己研鑽に励む。
- ・協働の取組、チームによる課題解決で学校を強くする。
- ・家庭、地域と連携し、地域に根ざす教育活動を推進する。

こんな子供に

- 笑顔いっぱいの啓蒙小学校—
- ・元気なあいさつができる子
 - ・友達となかよくできる子
 - ・ねばり強く取り組める子
 - ・つながって学ぶ子

重点目標

分かる授業づくり

◎主体的・対話的で深い学び

- ・基礎学力と学習習慣の確かな定着
- ・学ぶ意味を大切に授業
- ・学び続ける教職員

具体的な取組

- (1) 分かる喜びや学ぶ楽しさが味わえる授業
- 【啓蒙基本スタイル】
- ①めあてをもつ ②自分の考えをもつ
 - ③聞き合う ④振り返る
- (2) 学びのルールを全校で共有し、粘り強く考える学習習慣の定着を図る。
- ①学習のやくそくの徹底
 - ②児童の実態に則した研究体制
 - ・研究部を中心に学び続ける教職員：つながって学ぼう「聞く」
 - ・学期に一度の授業交流（学年、学団）
 - ③効果的な ICT の活用
 - ※授業だけでなく、仕事の効率を高めるための活用も図る。

目数標値

- ・授業がよく分かる。(児童80%)
- ・分かる授業、学ぶ楽しさが味わえる授業づくりを工夫している。(教師100%)

居場所づくり・絆づくり

◎多様な子供に応じた教育活動の推進

- ・個々の児童に寄り添った児童理解と指導・支援体制の充実
- ・互いに認め合える学級づくり
- ・人権教育の推進 ・道徳教育の充実

- (1) 丁寧に児童に寄り添い、児童理解を進める。
- ・行動観察（表情、言動） ・保護者からの情報
 - ・教職員の連携 ・カウンセリングの活用(学校カウンセラー)
 - ・週に一度の児童理解の場を設定（教職員）
- (2) 縦割り集団・学校行事等の活動を工夫する。
- (3) 保護者や地域と連携し、心をつなぐ言葉や挨拶の大切さを意識させる。
- ・各種たよりやHP等を通して授業や行事の様子を積極的に発信し、教育活動への理解を深めるとともに児童を見守り育てる体制の充実に努める
- (4) 支援会議を充実させることで、保護者や各関係機関との連携を密にして、一人一人のニーズを早期に的確に把握できる体制を確立し、指導や支援に生かす。
- (5) 「いじめ防止基本方針」に基づく取組で、人権尊重に根ざした教育活動を推進する。

- ・先生、友達、地域の人々に進んで挨拶をしている。(児童80%)
- ・友達のよい所を認め仲良くすることができる。(児童80%)
- ・お互いに認め合う温かな集団づくりに努めている。(教師100%)

児童が喜んで登校する学校

働きがいのある学校(働き方改革)

地域に信頼される学校